

68	産業労働局	中小企業制度融資
事業概要	<p>中小企業制度融資は、都内の中小企業者が事業の活性化や経営の安定等に必要な資金を円滑に調達できるよう、都、東京信用保証協会及び金融機関の三者が協調して行う融資である。都が、融資メニューや融資条件などを定めるとともに、融資の呼び水として都の資金を金融機関へ預託し、東京信用保証協会が中小企業の信用保証を行い、金融機関が融資を実行する。</p> <p>現在の保証限度額は、無担保無保証の8,000万円を含め、原則として2億8,000万円までとなっている。</p>	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・最近3年間の主な制度融資メニューの充実等 (平成30年度) <ul style="list-style-type: none"> ・「創業」 融資限度額を3,500万円に拡充（自己資金なしの場合は2,000万円）。融資利率を最大で0.3%引き下げ（責任共有制度対象外のみ）。 ・「事業承継」 一定の財務要件を満たした場合に、経営者の個人保証を不要とする特例メニューを創設。事業承継を受けた経営者の方が、株式取得等のため個人でも活用できるよう対象を拡充。 ・「経営支援」 経営改善をサポートするメニューを使い易く統合（最大で信用保証料の3分の2を補助） ・「小口」 融資限度額を2,000万円に拡充 ・「危機関連」 危機時に一般保証とは別枠で100%保証を受けられる融資メニューを創設 (令和元年度) <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革支援」 東京都の事業を活用し、働き方改革に取り組む中小企業の資金調達に幅広く活用できる融資メニューを創設し、信用保証料の1/2を補助（テレワークに取り組む場合は2/3を補助） ・「小口短期」 運転資金に対応した、融資期間1年以内の一括返済が可能で、1年毎の更新により、返済せずに継続利用できる融資メニューを創設 ・「事業承継」 M&Aにより事業承継に取り組む中小企業に対し、融資限度額2,500万円、融資期間3年以内の一括返済が可能な特例メニューを創設 ・「設備投資・企業立地促進」 設備投資の融資期間の上限を最長の15年に拡大し、設備資金に付随する運転資金も新たに対象となるよう拡充 ・「経営支援」 東京信用保証協会が開催し、取引金融機関が一堂に会する「経営サポート会議」を経て、中小企業が改善計画を策定した場合の融資期間の上限を、最長の15年となるよう拡充 (令和2年度) <ul style="list-style-type: none"> ・「イノベーション創出支援」「成長産業育成支援」「ソーシャルビジネス・ソーシャルファーム支援」「ゼロエミッション支援」「BCP・サイバーセキュリティ対策支援」の新設： 東京都の事業を活用し、新たな事業活動や社会課題解決に資する取組を行う事業者等の資金調達に利用できる融資メニューを新設し、信用保証料の1/2（全事業者または小規模企業者）を補助 ・「事業承継」に「事業承継経営者保証不要型」を追加： 新たな全国統一保証制度「事業承継特別保証」を都制度として導入し、全事業者1/2または保証料率0.2%に相当する信用保証料のいずれか高い方の信用保証料を補助 	

<p>現在の進行状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革支援」に「女性活躍推進特例」を追加： 「働き方改革支援」の融資対象で、女性の活躍推進に関する取組みを併せて行っている事業者に対する特例を新設、全事業者 2/3 の信用保証料補助に加えて 0.4% の融資利率を優遇 ・「補助金・助成金つなぎ」の一部拡充： 補助金・助成金の対象に、東京都中小企業振興公社が実施する事業から東京都産業労働局所管の事業に拡充、融資条件も一部拡充 ・「経営強化」の一部拡充： 中小企業等経営強化法の認定を受けている事業者を「強化認定」の融資対象とし、小規模企業者 1/2 の信用保証料を補助 ・「新型コロナウイルス対策」の融資メニューの新設・一部拡充等（「新型コロナウイルス感染症対応緊急融資」「新型コロナウイルス感染症対応緊急借換」「経営支援融資（危機対応型）」、以下令和 2 年 5 月新設「感染症対応融資（全国制度）」）： 新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けている都内の中小事業者等の事業活動や経営安定化を促進するため、長期かつ低利の融資を実施。 令和 2 年 5 月には、全国一律で実施する利子補給制度「感染症対応融資（全国制度）」の新設に併せて従前の 3 メニューを改定し、計 4 メニュー合計で融資実行額 1 億円まで 3 年間実質無利子化（4 メニューとも信用保証料全額補助） <p>令和 3 年度は、感染症の影響を受ける事業者の経営改善を支援し、ポスト・コロナ社会に向けた事業者の様々な取組を後押しすることで、中小企業者に対する円滑な資金供給をより一層図るため、次のとおり制度改正等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症対応融資（伴走）」の新設 感染症の影響により事業活動に影響を受けている都内中小企業等の事業活動や経営安定化を支援するため、金融機関が事業者の経営改善を伴走支援する低利の融資を実施。 令和 3 年 6 月からは、感染症の影響の長期化に伴い、同年 12 月末までの時限で同メニューの信用保証料補助を最大で融資額 8 千万円まで全額補助となるよう拡充。 ・「DX・イノベ・産業育成支援融資」の新設 都内中小企業等のデジタルトランスフォーメーションの推進やイノベーション創出、成長が期待される産業分野への取組を後押しするメニューを創設 ・「経営安定融資（改善サポート）」の拡充 国の全国統一保証制度の拡充を受け、認定支援機関による支援を受けて経営改善に取り組む事業者の資金繰りを支援。 ・（令和 3 年 6 月新設）「事業転換・業態転換等支援融資」の新設 感染症の影響を受けながらも、DX活用等により事業転換や事業の多角化、デリバリー対応等の業態転換に取り組む中小企業等の資金繰りを支援するため、低利の融資を創設。融資額最大 8 千万円までの信用保証料を全額補助とした。 	
<p>今後の見通し</p>	<p>中小企業者を取り巻く経営環境の変化や国の施策の方向性などを踏まえつつ、今後とも中小企業者にとって、分かりやすく利用しやすい制度融資となるよう、適宜制度の見直しや充実を図っていく。</p> <p>また、見通し不透明な新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、依然として厳しい状況が続く中小企業の資金繰り支援の継続に努めていく。</p>	
<p>問い合わせ先</p>	<p>産業労働局 金融部 金融課</p>	<p>電話 03-5320-4877</p>